

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

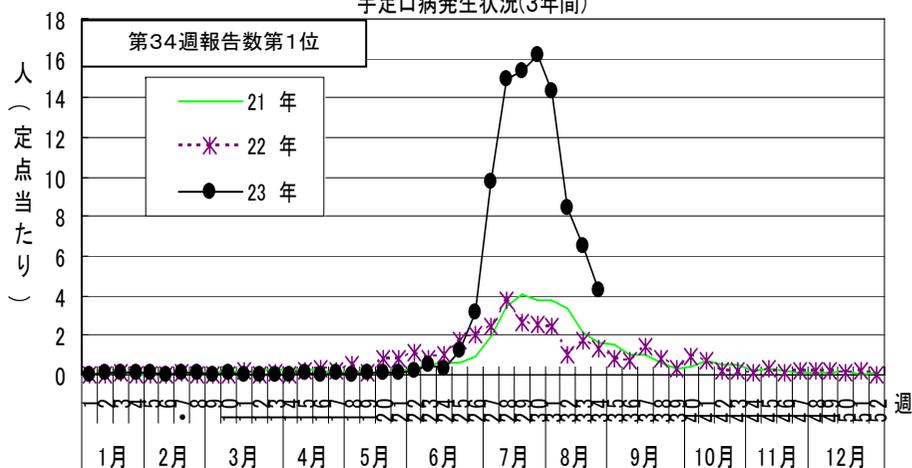
平成23年8月22日（月）～8月28日（日）〔平成23年第34週〕の感染症発生状況

第34週で定点報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)ヘルパンギーナでした。

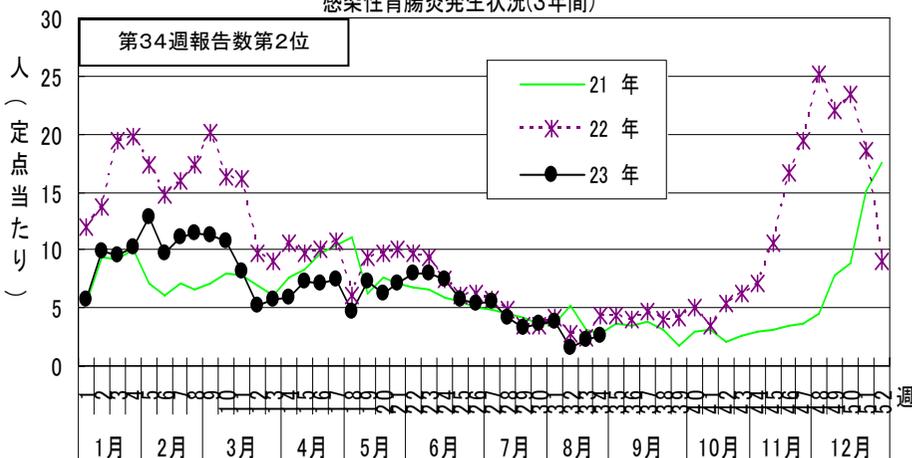
手足口病は定点当たり4.28人と、患者報告数は4週連続で減少しています。ただし、依然として警報基準値（定点当たり5人）に近いレベルで推移しているため、今後も発生動向に注意が必要です。

ヘルパンギーナも定点当たり2.44人と患者報告数の減少傾向が続いていますが、手足口病及びヘルパンギーナについては、過去10年間の同時期の報告数と比較すると、今年が最も多い報告数となっているため、引き続き手洗いなどの予防策の徹底が大切です。

手足口病発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



～＜秋＞ポリオ(急性灰白髄炎)予防接種～

川崎市では、春と秋にポリオの予防接種事業を実施しています。対象は生後3か月～90か月に至るまでの間で2回接種が済んでいないお子さんです。対象の方は予防接種を受けましょう。

ポリオの症状は！？

ポリオの潜伏期間は3～21日間(通常7～12日間)です。感染しても、90～95%の方は無症状でおわり、一生抵抗力(終生免疫)が得られます。

症状が出る場合でも、ほとんどが風邪のような症状でおわりますが、感染者の約0.1%が典型的な麻痺を起こします。さらに麻痺症状が進行し、呼吸困難により死亡することもあります。

予防接種について

ポリオに対する特異的な治療法がないため、ワクチン接種によってポリオウイルスの感染を予防することが最も重要です。現在、日本では経口生ポリオワクチン(0.05ml程度の液体を飲む)を2回接種しています。

接種時期

春と秋に実施しています。秋は9月から11月にかけて実施しますので、詳細についてはお問い合わせください。接種の受付は午後1時00分から午後2時50分までです。

他の予防接種との接種間隔

BCG、麻しん・風しんの予防接種から27日以上、ジフテリア・百日咳・破傷風の3種混合、日本脳炎予防接種から6日以上間隔をあけてください。

予防接種に関するお問い合わせは、お住まいの区の区役所地域保健福祉課まで御連絡ください

川崎区役所地域保健福祉課	044-201-3204	宮前区役所地域保健福祉課	044-856-3254
幸区役所地域保健福祉課	044-556-6648	多摩区役所地域保健福祉課	044-935-3301
中原区役所地域保健福祉課	044-744-3261	麻生区役所地域保健福祉課	044-965-5157
高津区役所地域保健福祉課	044-861-3313	健康福祉局健康安全室予防接種担当	044-200-2440

発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター(保健所)
(問い合わせ先) 044-200-2412